

令和4年度 北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

胆振 管内	白老 市・ 町 ・村
<p>●実践の概要</p> <p>パークゴルフ体験会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ（ウォーキング）を行うことにより、健康寿命の延伸を促進する。 ・軽スポーツを通して、地域住民の交流やつながりを創出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象：パークゴルフ未経験者・初心者の町民 ・主な連携：白老パークゴルフ（以後PG）協会、白老PGクラブ、健康福祉課、高齢者介護課、スポーツ推進委員 ・協働内容：PG協会とスポーツ推進委員による実技指導、PGクラブによる場所と用具の提供、保健師による健康講話、管理栄養士考案の健康弁当提供。 	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率の高い当町では、健康寿命の延伸と医療費抑制への働きかけのため、軽スポーツ（ウォーキング）の普及、振興に取り組む必要性があった。 ・上記を令和3年度の社会教育主事講習の演習題材とし事業計画を作成した。 ・高齢化、健康寿命の観点から福祉部門と連携した。 ・具体的な競技を選定する中で、新たな競技人口の掘り起こしを模索していたPG協会と、パークゴルフ場を運営するPGクラブに協力を仰ぎ官民連携とした。 <p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3課内にて連携協議、具体的な内容の詰め。 ・PG協会及びPGクラブへの協力依頼。 ・町民に対する周知（広報、チラシの配布、ポスター掲示、関係団体への働きかけ） 	
<p>●実践で難しいと思ったこと・困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部署や関係機関との連携において足並みをそろえること。 ・軽スポーツによる健康寿命の延伸、医療費抑制への働きかけが事業の目的であったが、公民館講座としたため、教育委員会任せの部分が多かったこと。 	
<p>●改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に行うための環境づくり、取組の推進。 ・参加者の平均年齢が高かったため、若年層への参加を促す仕掛けの構築。 ・他の軽スポーツでも実施できるような事業計画の作成。 	
<p>●実践での行政職員の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者と参加者のつなぎ役 ・専門的観点からの指導と提案 	<p>●実践後の対象の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣に対する意識向上 ・食生活の見直し
<p>●実践から導き出された社会教育行政職員の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター （他課連携、協働、住民の交流、つながりづくり、人づくり） 	